

市数研だより

平成16年5月31日発行

No.1

熊本市中学校数学教育研究会

平成16年度がスタートし、はや2ヶ月がたちました。
新しいスタートをした学校は、先生方そして子どもたちのやる気にあふれ、ときどきわくわくの雰囲気に満ちあふれていたことでしょう。
市数研も県大会を間近にひかえ、先生方のわくわくする雰囲気に満ちあふれたスタートとなりました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。先生方、一緒にがんばっていきましょう。

第1回定例会の報道です

平成16年度の第1回市数研定例会が、5月20日に藤園中学校図書室で行われました。県大会を控えた年度の最初の会です。開始予定の6:30の前から続々と先生方が集まってこられました。さすが、県大会の年。皆さんの関心の高さがビシビシと感じられます。県数会長の宇藤校長先生(東町中)、附属中学校の西副校長先生もご参加いただきました。会場の図書室がさすがに足りなくなるくらい大盛況でした。

1 オープニング

会長の稲津孝夫校長先生(桜山中)よりあいさつがありました。

運動会を間近に控えた学校が多い中、時間前からたくさんお集まりいただきありがとうございます。皆さんのやる気を感じられます。今日は授業の指導案についての検討になっていくと思います。どうぞ、活発な議論をお願いします。



2 県大会に向けての検討

まず研究部長の桃崎先生(武蔵中)より、研究主題のもつ意味を熱く語っていただきました。これまでも繰り返し打ち出されてきた、「鍛える」というキーワードのより具体的なとらえ方が示されました。今回の県大会で市数研がめざす授業の姿が、より明確に見えてきたようです。

鍛える学習課題...発展的な学習のできるような教材、魅力ある教材の開発、作成

鍛える学習指導...教材の提示の仕方、机間指導のポイント、課題解決の後の工夫など

鍛える教材教具...デジタルコンテンツの活用の工夫など



また、県大会に向けて市数研の先生方の授業のネタを財産として集めようということで小冊子『「鍛える」数学授業で「粘り強い思考力」を伸ばす』(仮題)を発刊することも提案されました。

さらに、この県大会の大きな柱である「小中連携」の体制についての現状も説明されました。「鍛える」という言葉ををどうとらえるか。定義は何なのかをもっとはっきりさせる必要があるというご指摘がありました。

事務局長の宮崎先生(藤園中)からは、県大会に向けての授業作りの組織・体制の再確認がされました。そして、大会までの授業作りの大まかな流れが確認されました。

6月中旬に事前授業を行うこと

夏休み中に指導案の再検討を行うこと

9月はじめに事前授業を行うこと

の3点です。

事前授業研には各ブロックにお茶代などの予算を若干準備します。各ブロックの事前検討会は、各担当の先生より連絡があります。その際は各学校から1名は参加していただきますように、ぜひお願いします。

そのあと、各授業ごとに分かれて、指導案などを検討しました。



3 県大会に向けての検討

1 年 A 部会 出口先生班



県大会の大きな柱の 1 つ、小学生に対しての授業を検討しています。

1 年 B 部会 園川先生班



「数の家」という教材を検討しているところです。

2 年 A 部会 北里先生班



数学脳を鍛えるべく、生徒にとって手強い課題を準備しています。

2 年 B 部会 山内先生班



IT を活用した図形の学習について考えています。

3 年 A 部会 猿渡先生班



放物線の不思議さをどうやって感じさせていくか、教具の作り方などを議論しました。

3 年 B 部会 野田先生班



「円盤の回転」という課題学習を素材に授業作りをしています。

4. ミニ講座

昨年度から恒例となった村上先生（城西中）から授業のネタ、ワンポイントアドバイス

$$142857 \times 2 = 285714 \quad 142857 \times 3 = 428571$$

$$142857 \times 4 = 571428 \quad 142857 \times 5 = 714285$$

答をながめてみると数字が循環している。なぜだろう？

和算の話。昔の農民たちは、ある問題をもとにして自分で問題を作っては楽しんでいったという。

そして、その問題を解くのに夢中になってしまい、自分の仕事も忘れてしまう始末。

そのため、「和算を禁じるおふれ」がだされたような…。

この他にも数学のミニネタが紹介されました。
いつもとても参考になる村上先生のミニ講座です。



4. まとめ

市数研副会長の福井校長先生（井芹中）よりまとめの言葉をいただきました。

「県大会の指導案がそれぞれ出されました。

これをたたき台にして、一步一步前進していきましょう」

以上、5 月定例会の報道でした。

市数研歓送迎会が開催されました

5 月 6 日（木）チサンホテルにて、市数研の歓送迎会が盛大に行われました。

県大会をひかえみなさんの関心も高く、例年より多くの先生がご参加いただきました。

会の中では、福井校長先生（井芹中）のチヨンカケゴマの名演技もあり、楽しいひとときとなりました。



市数研・市数研合同会議が行なわれました

県大会を市数研と合同で開催する熊本市小学校算数教育研究会との合同会議が、5月19日（水）桜山中学校で行われました。県大会の運営について話し合われました。県大会の夜は小中合同で懇親会をやるということも話題となりました。



お知らせ・お願い

市数研の活動の様子が、ホームページ（ＨＰ）でも公開されています。

熊本県中学校数学会のＨＰ（アドレス；<http://128.121.222.29/kumamoto/>）のトップページのMENUの「支部だより」をクリックすると、「パスワードを入力してください」というメッセージが出ます。パスワードのkumath（半角小文字です）を入力してください。熊本県の各支部の様子がわかります。熊本市の活動の様子を、ＩＴ担当の堀之内先生（楠中）が日々更新中ですので、ぜひ先生方も一度覗いてみてください。

県大会にむけて、各ブロックでの授業研が行われます。

第１回目のブロック研は6月の第２週あたりに計画されます。お忙しい時期かと思いますが、どうぞ各学校よりふってご参加下さい。詳しい日程などについては各ブロックの担当の先生にお尋ね下さい。

ブロック名	所 属 校	チーフ
南 部	城南、江原、託麻、天明、力合、日吉	宮崎 浩義先生（力 合）
東 部 1	二岡、東部、西原、武蔵、龍田、桜木	武田 裕二先生（錦ヶ丘）
東 部 2	湖東、帯山、東野、錦ヶ丘、東町、長嶺	石塚 雅浩先生（出 水）
北 部	京陵、竜南、楠、清水、井芹、北部、附属	出崎 友英先生（京 陵）
西 部	花陵、西山、三和、城西、芳野、河内、飽田	澤田 伸一先生（武 蔵）
中 央	出水、白川、藤園、江南、桜山、出水南	藤澤 龍介先生（白 川）

市数研のメーリングリストがあります。県大会の取り組みなどに関わる情報が、いち早く届きます。

もし、メーリングリストに参加されたい先生がいらっしゃいましたら、武蔵中の桃崎先生までご連絡下さい。お待ちしております。

**定例会への多数の先生方のご参加をお願いします！！
各学校から1名、是非お願いします！**

皆さんと共に歩む市数研です。

（文責：京陵中学校 出崎友英）